



ふくし 100 人会議 in おたる 特別編開催決定！！

昨年 7 月～9 月に計 3 回に渡って小樽ソーシャルワーカー連絡協議会「そある」と連携し、「ふくし 100 人会議 in おたる」を開催しました！今回は特別編として、子どもが安心して食事を摂れる場所、安心して過ごせる居場所づくりを目的とした「子ども食堂」を小樽で作ることをテーマに、みなさんでどうすれば「子ども食堂」が実現するかを考えたいと思います！

この取組は、昨年 6 月に一度だけ開催が実現した「子ども食堂」を運営した、小樽商科大学の学生が強い思いを持って、小樽での実現に向けて取組もうとしています。しかし、それには多くの協力が必要です。

当日は札幌で 2 つの「子ども食堂」に関わっている片山寛信さんからの報告、小樽商科大学学生の白戸敬登さんからの強い思いをお話いただき、参加者全員でのワールドカフェ方式での対話を検討しています。

ぜひ、みなさんでこのテーマについて楽しく話し合い、ご協力いただければと思います！



【テーマ】 「子ども食堂を作ろう！」

【開催場所】 小樽市総合福祉センター4階 研修室（小樽市富岡 1-5-10）

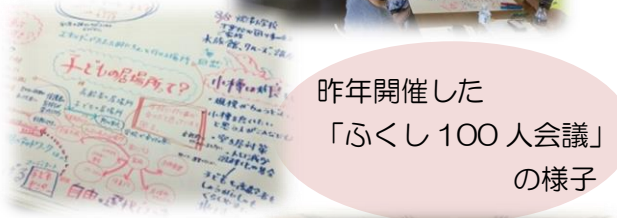
【日 時】 H29 年 1 月 21 日（土）13：30～16：30

【参加費】 無 料

主催：小樽市生サポートセンター「たるさぼ」
小樽ソーシャルワーカー連絡協議会「そある」
共催：小樽わくわく共育ネットワーク



6 月に開催した
子ども食堂の様子



昨年開催した
「ふくし 100 人会議」
の様子



テーマに興味のある方は、どなたでも参加できますので、ぜひ参加してみてください！
当日参加も可能ですが、事前申込みにご協力お願い致します。
申込み・問合せはたるさぼまでお願い致します。

小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」

住所：小樽市花園 4 丁目 2 番 14 号 花園ビル 2F

電話：0134-33-1124 / 0134-33-1128

FAX：0134-33-1128

メール：taru-sapo@city.otaru.lg.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/tarusapo/>

アメブロ：<http://ameblo.jp/tarusapo/>

Facebook とアメブロにて
日々の活動の様子を随時報告し
ています！ぜひご覧ください！



たるさぼ通信

第 4 号 H29 年 1 月 4 日
発行：小樽市生活サポートセンター
「たるさぼ」

みなさんこんにちは。小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」です！（以下たるさぼと省略）
私たち「たるさぼ」は H27 年 4 月 1 日に小樽市が開設した「仕事」や「生活」などで悩んでいる方の相談支援機関です。専門の相談員がお話を伺い、問題解決のためにサポートします。相談は無料です。
最近の「たるさぼ」の活動について報告致します！



就労準備支援&茶話会の様子



「たるさぼ」では、H28 年 7 月より「たるさぼを通じて就労が決まった方」や「現在たるさぼの就労支援を受けている方」を対象とした「たるさぼ茶話会」を月に 1 度開催するようになりました。

この「たるさぼ茶話会」は、日ごろの職場の人間関係や労働条件などの仕事上の悩みを話し合い、参加者の交流を深めることを目的としております。

H28 年 12 月 22 日に、就労準備支援参加者から「クリスマス会をやりたい！」という意見が聞かれたので、この「たるさぼ茶話会」の開催と合わせて、就労準備支援参加者と現在就労している方が一緒に集まる機会として「たるさぼクリスマス会」を開催しました！当日は 16:30～といつもより遅い開催に設定し、就労準備支援でコミュニケーショントレーニングを行ってから、茶話会を開催しました。



クリスマスといえばケーキ！！
お菓子は負担がない程度で持ち寄り
ました！



今流行の「恋ダンス」を踊る参加者も！！

就労準備支援には 8 名、茶話会には 9 名
が参加し、みなさんには自分で考えた仮装
を 1 つ身に付けてもらいました！



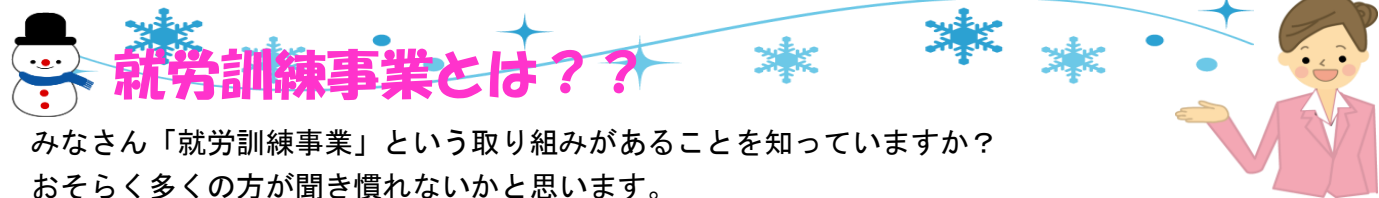
みなさん「いつもよりも楽しい」と話され、笑顔も
たくさん見られました！
1 月に新年会も同様に開催する予定です！



《参加者からの声》

- 普段とは違った印象が持ててとても楽しめた。
- 家でクリスマスをしなくなったので、参加できてよかったです。仮装も好評で良かったです。
- みんなの個性が出ていてよかったです。機会があればまたやりたいです。





就労訓練事業とは??

みなさん「就労訓練事業」という取り組みがあることを知っていますか？
おそらく多くの方が聞き慣れないかと思います。

この事業は「中間的就労」とも呼び、「すぐに一般就労を目指すことが困難な人に対して、支援付きの就労の機会を提供する」という取組で、北海道の認定が必要であり、小樽市では社会福祉法人北海道宏栄社が唯一事業の申請をして認定を取ってくださっています。

今回は、社会福祉法人北海道宏栄社の就労訓練事業担当、高田栄一郎さんにインタビューを行い、この事業について説明していただきました。

この人に聞く!

社会福祉法人 北海道宏栄社
管理部管理課係長 高田 栄一郎氏



今年から、たるさぼさんと一緒に働かせていただいています。
普段は事務仕事をしており、就労支援関係の仕事は今回が初めてです。就労訓練を受ける方と、たるさぼさんと、現場の担当者の意見を上手につなげる役割ができればいいなと思っています。
どうぞよろしくお願いいたします。

Q:就労訓練事業の認定を取得しようと思ったきっかけは??

A:たるさぼから強く依頼があったからです(笑)
宏栄社は社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。その一つとして、就労訓練事業にも参加し、無償ではあるけれども、地域への貢献という考えのもとで取得に至りました。
当時、人手不足であったこともあり、利用者の中には働ける人材がいるかもしれないという期待もありました。

Q:認定を受けてからの状況について、大変さや困難さ、あるいは良かった点などがありますか?

A:大変ではないです。むしろ色々な人がいるということがわかり、すごく勉強になります。
仕事に関しては、現場の人に任せている部分が強く、現場の人にも障がいを持っている方と既に関わりを持っているからなのか、まずはどんな人であっても本人を受け入れる姿勢が自ずとできていると感じます。
あえて言うとしたら、この取組によって働く担い手が増えるということを宏栄社としては期待していた部分は強かったと思いますが、実際は様々な事情や困難さを抱えている人たちがいて、なかなか自分たちの期待通りにはいかないということが、やってみて分かった事として言えるかもしれません。



Q:今後の課題は?

A:やはり連携が大変だと感じます。どこの組織であっていいことだと思えますが、職場内や他機関との連携が、大切だと思います。

Q:たるさぼに求めることは?

A:しっかり対応していただいているので、特に…(笑)訓練事業利用者の様子を見に来ることは、むしろ心強いと思うので遠慮なく来てもらいたいと思います。

Q:宏栄社が考えるこの事業の理想などは?

A:この事業が開始して間もないので、まだ実例がないですが、この事業を利用して、仕事に対する自信をつけて巣立っていく人を一人でも多く支援できればと思います。宏栄社での就労継続、他の企業での就労問わず、どういう形であっても、その方の就労につながるということに協力できればと思います。



◀今回ご協力いただいた企業はこちら▶

北海道宏栄社

住所:小樽市天神2丁目8番2号
電話:0134-25-1551 FAX:0134-29-3284
E-mail:selp@koueisyu.or.jp
URL:<http://www.koueisyu.or.jp>
経営施設:

- ・障害者支援施設 北海道宏栄社、
- ・障害者福祉サービス事業 宏栄セルフ
- ・福祉ホーム 宏栄社福祉ホーム
- ・相談支援事業所 あおば

就労訓練事業利用者 Nさんからのコメント



私はしばらくの間、働くことができず、たるさぼに相談をしてこの事業を利用するようになりました。
初めは不安もありましたが、この事業を利用することで、働く日数や時間を配慮してもらうことはとてもありがたいことだと思っています。ブランクがあるので、体は少しずつ慣れていっているように感じており、いきなりフルタイムで働くよりは理解をしてもらいながら働けることは自分にとってはとてもよかったです。

